



2026年3月期第2四半期（中間期）
決算説明会

2025年11月27日
証券コード：4997
東証プライム市場



0. 日本農薬の概要

NICHINO グループ基本理念

- ・安全で安定的な食と豊かな暮らしを守り、サステナブルな社会の実現に貢献します。
- ・新たな価値の創造にチャレンジし、社会のニーズに応えます。
- ・公正で活力ある企業活動により全てのステークホルダーの期待に応えます。

主な事業内容

農薬、医薬品、動物用医薬品、木材用薬品、農業資材などの製造業、輸出入業、販売業

創立

1928年（昭和3年）

資本金

14,939百万円

売上高(連結)

99,966百万円

従業員数(連結)

1,524名

本社所在地

東京都中央区京橋

国内事業所

本社、札幌支店、仙台支店、東京支店、大阪支店、福岡支店、総合研究所、長沼ナーセリー、大阪事務所

代表取締役社長

岩田浩幸

国内子会社数

4社

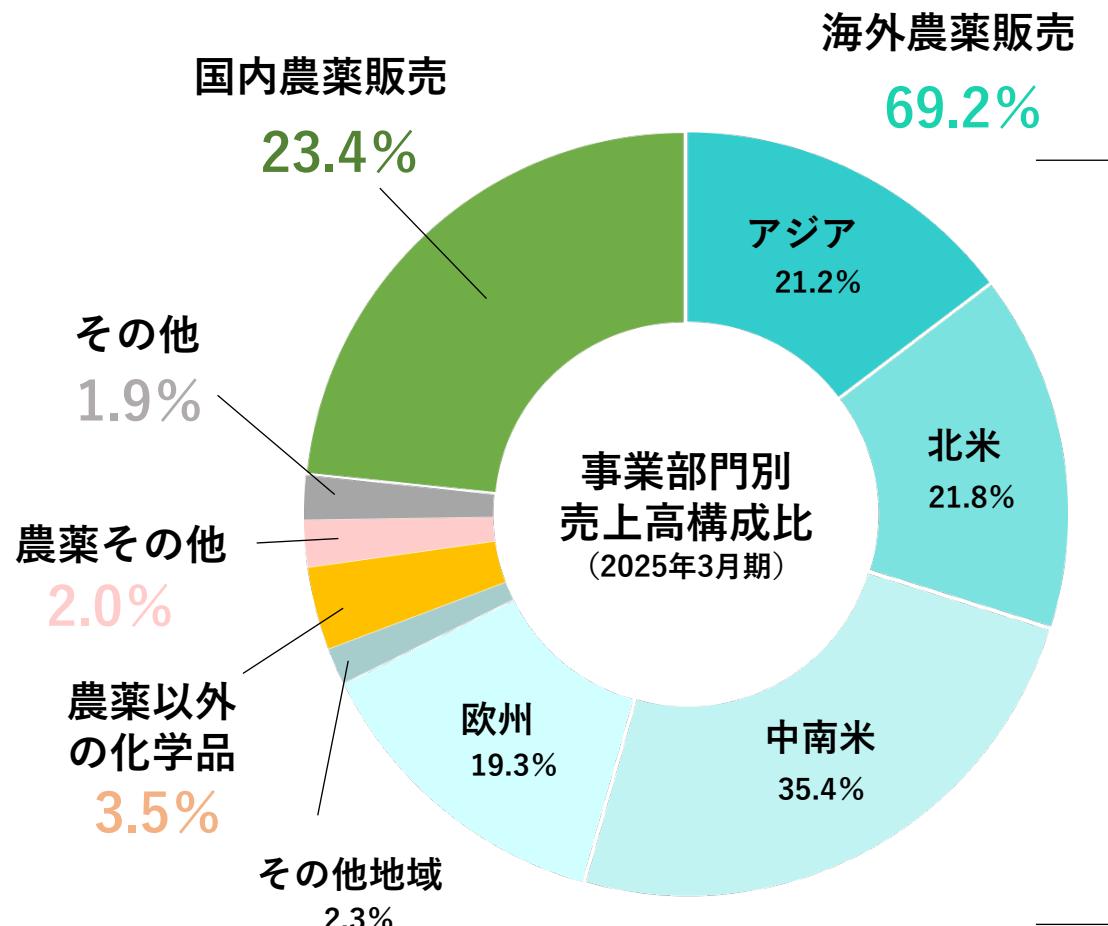
海外子会社数

15社

当社製品の登録取得国数

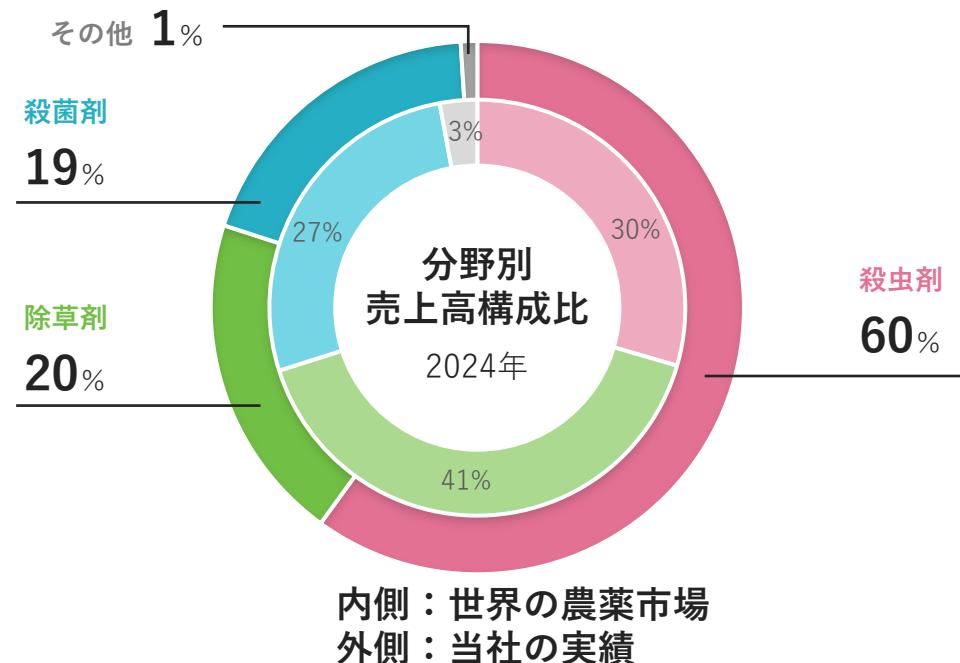
100以上

2025年3月31日現在



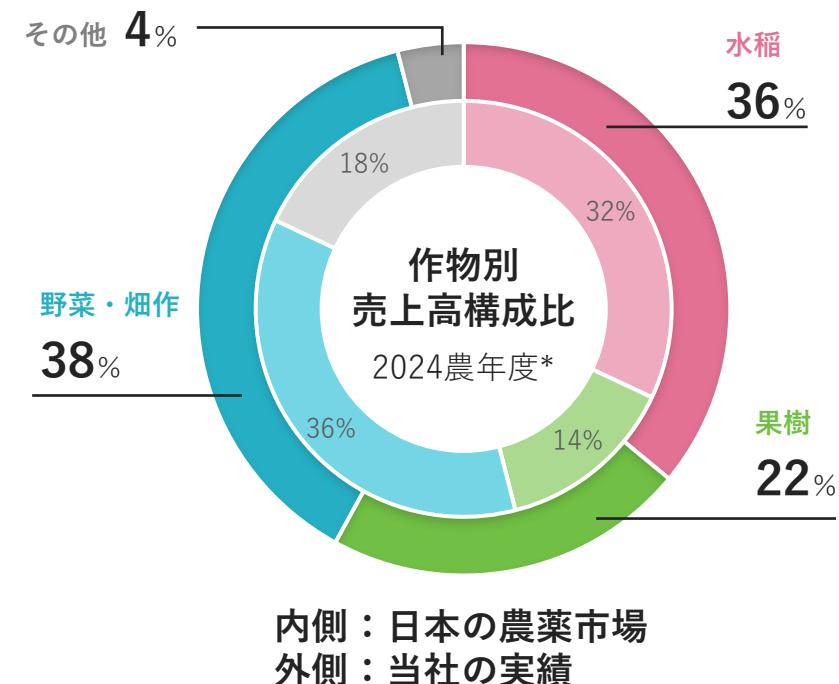
- 日本の気候・風土を反映：温暖多湿なので殺虫剤需要が比較的大きい
- 用途：穀物(Row Crop)より果物や野菜(Specialty Crop)に強い
- スマート農業：AI病害虫雑草診断アプリの提供など、先進的な独自の取り組みを推進

殺虫剤に強い（温暖多湿の日本を反映）



AgbioInvestor より

果樹・野菜に強い（特化型）



*2023年10月～2024年9月 クロップライフジャパンより

日本農薬株式会社

I. 世界の農薬市場

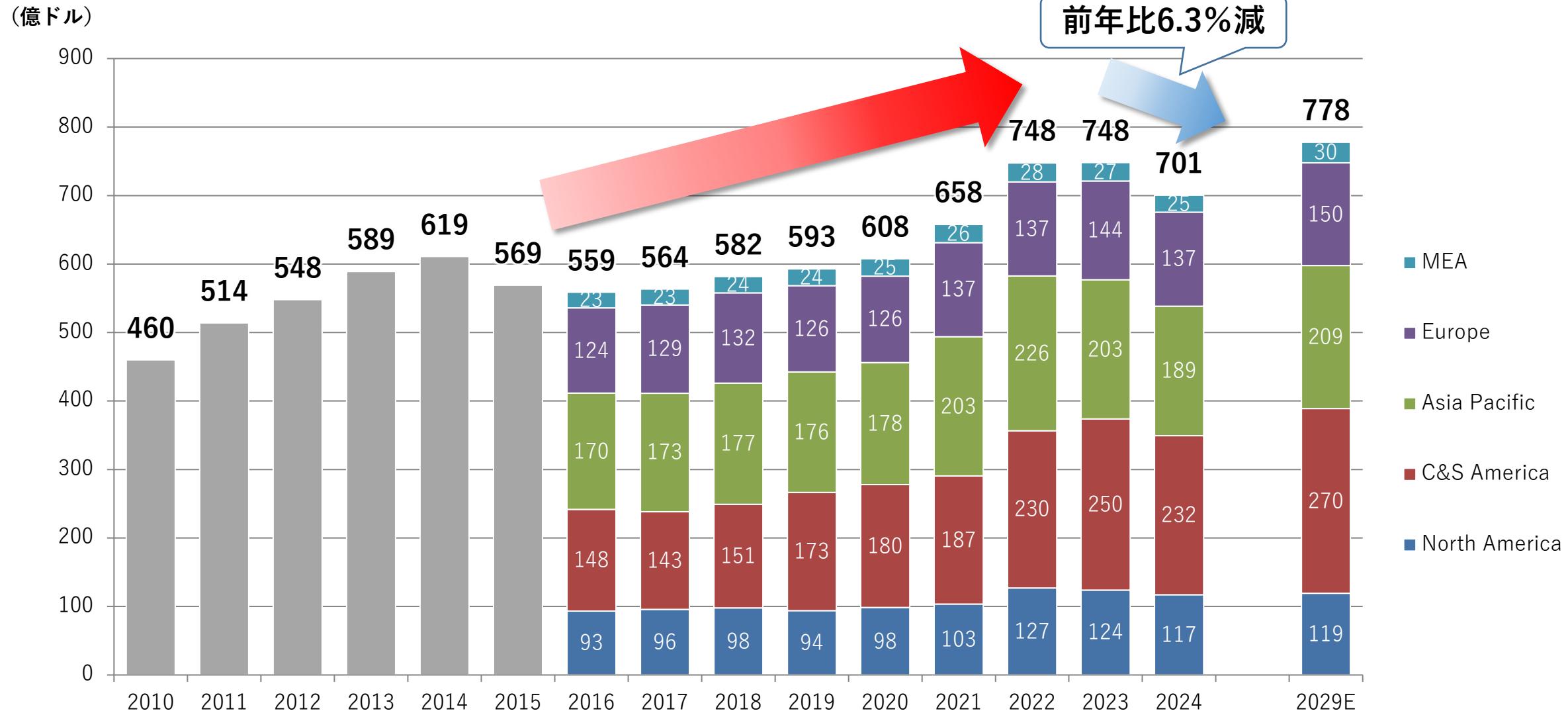
II. 2026年3月期中間期実績

III. 2026年3月期業績見通し

IV. 中期経営計画への取り組み状況

V. 質疑応答

I. 世界の農薬市場



国内

気温の高い状態が続き、害虫の発生が増加、
米価高騰による生産意欲の高まりから、水稻栽培面積が増加し、需要は堅調

北米・中南米

主要作物（とうもろこし、大豆等）の価格下落により生産コストが抑制され、
ジェネリック農薬が台頭

欧州

一部地域における天候不順の影響から、需要は弱含み

アジア

一部地域での豪雨の影響から農薬の散布機会が減少したほか、
流通在庫の影響などから、価格・需要は弱含みで推移

II. 2026年3月期 中間期実績

2026年3月期 中間期実績（前年同期比）

(単位：億円、%)

	26年3月期 中間期 実績	25年3月期 中間期 実績	前年同期比	伸び率
売 上 高	477	391	85	21.9
農薬（国内）	84	68	16	23.6
農薬（海外）	345	283	62	22.1
農薬（その他）	14	11	3	31.3
農薬以外の化学品	21	19	1	8.7
そ の 他	10	8	1	22.8
売上原価	307	270	37	13.8
売上総利益	169	120	48	40.2
販売費及び一般管理費	122	110	11	10.8
営業利益	46	10	36	355.3
経常利益	46	5	41	798.0
親会社株主に帰属する中間純利益	33	6	27	443.2

売上高 391億円 → 477億円 (+ 85億円)

営業利益 10億円 → 46億円 (+ 36億円)

海外農薬販売の増益 + 43億円

国内農薬販売の増益 + 6億円

ノウハウ技術料の増加 + 4億円

化学品事業の増益 + 1億円

販管費の増加（為替影響除く） - 15億円

為替影響による減益 - 3億円

(単位：億円、%)

	26年3月期 中間期 実績	26年3月期 中間期修正後計画	差異	増減率
売 上 高	477	480	△ 2	△ 0.6
農薬（国内）	84	79	5	6.6
農薬（海外）	345	357	△ 11	△ 3.2
農薬（その他）	14	16	△ 1	△ 6.3
農薬以外の化学品	21	20	1	8.4
そ の 他	10	8	2	32.8
売上原価	307	324	△ 16	△ 5.0
売上総利益	169	156	13	8.4
販売費及び一般管理費	122	125	△ 2	△ 2.2
営 業 利 益	46	31	15	51.2
経 常 利 益	46	28	18	66.5
親会社株主に帰属する中間純利益	33	20	13	68.6

売上高 480億円 → 477億円 (- 2億円)

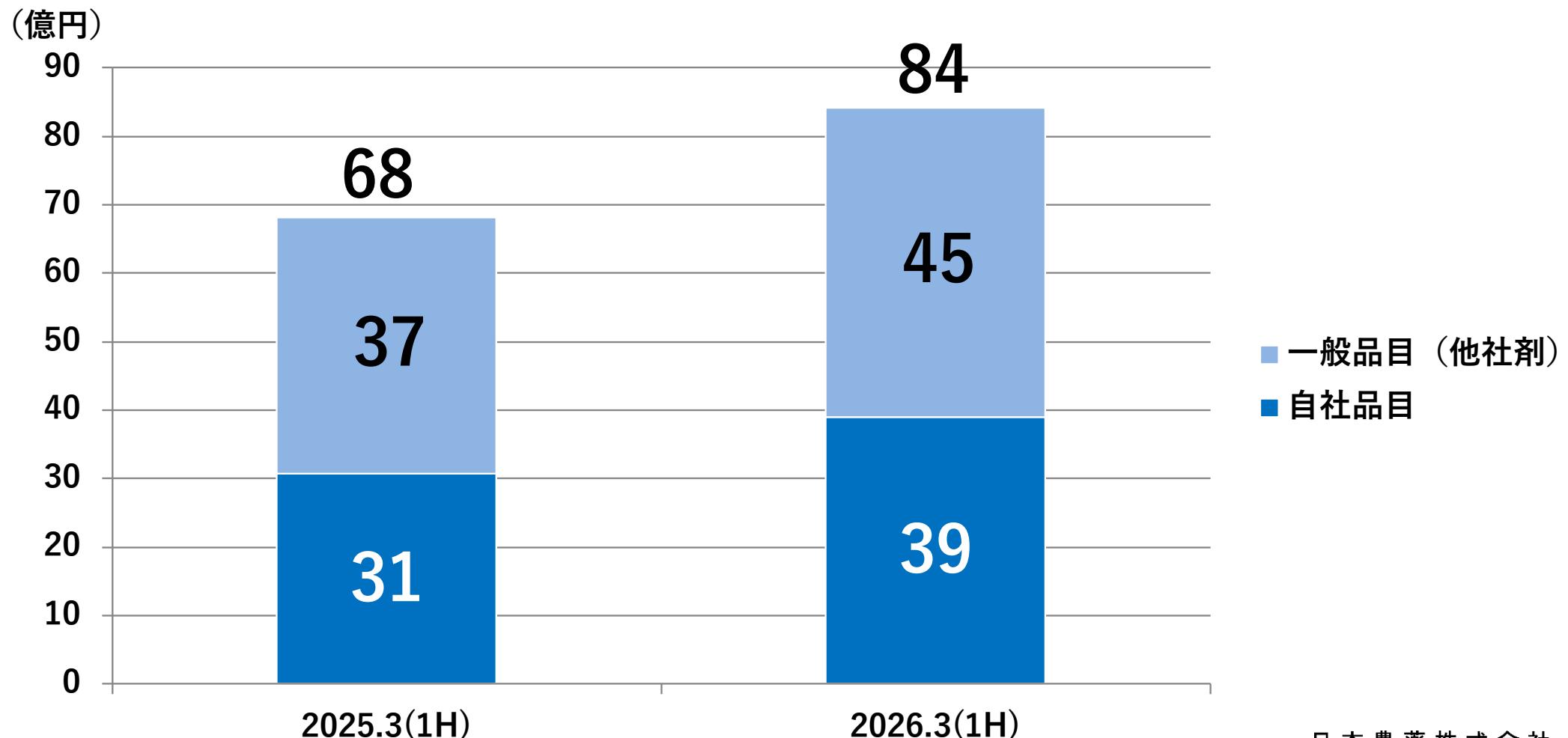
営業利益 31億円 → 46億円 (+ 15億円)

海外農薬販売の増益
(売上総利益率の改善) + 9億円

国内農薬販売の増益 + 3億円

販管費の減少 (為替影響±0) + 3億円

水稻向け製品の販売増により增收



北米での除草剤・殺ダニ剤、欧州での除草剤・殺虫剤・殺菌剤の販売好調などにより增收

(億円)

400

350

300

250

200

150

100

50

0

283

61

76

58

79

345

5

81

87

98

73

- その他
- 北米
- 中南米
- 欧州
- アジア

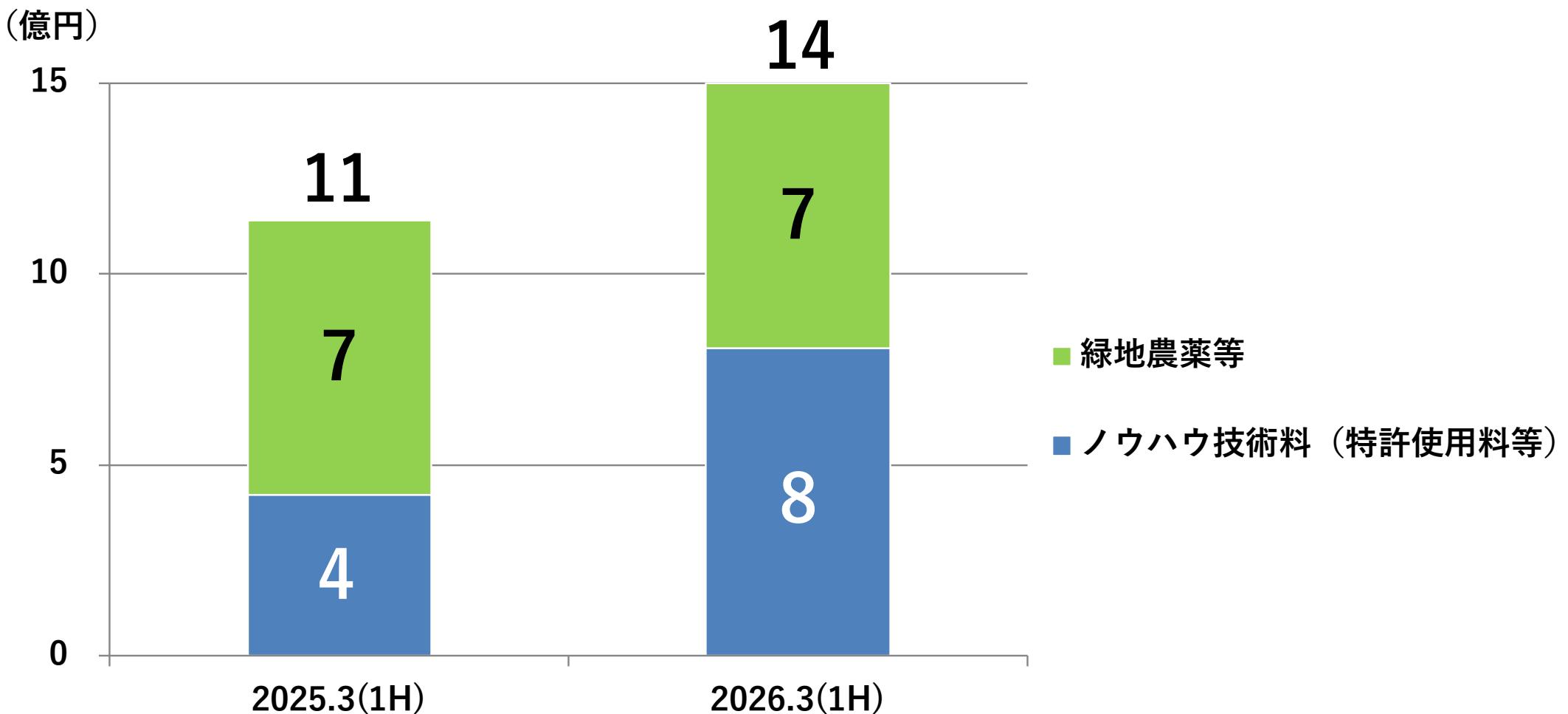
2025.3(1H)

2026.3(1H)

25.3(1H)実績為替レート
149.78円/ドル 157.79円/ユーロ

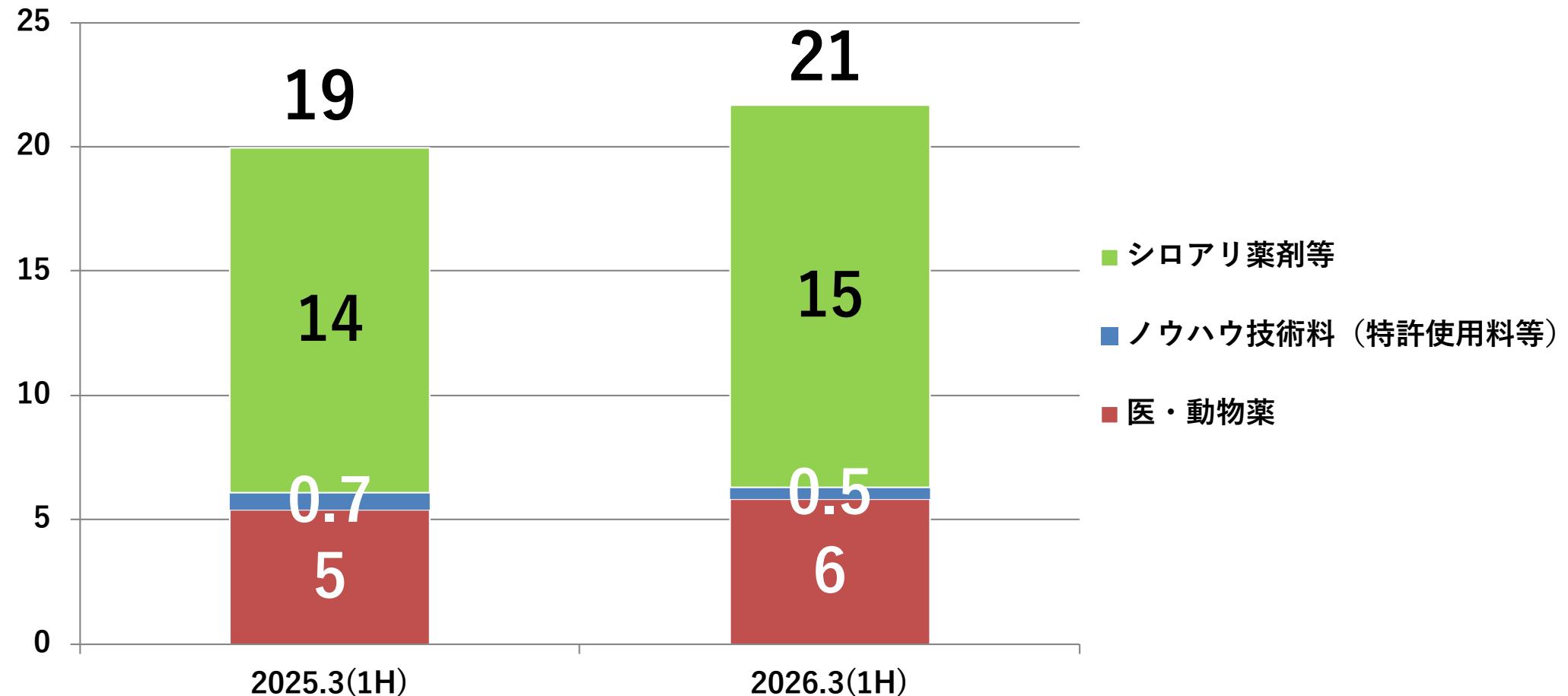
26.3(1H)実績為替レート
142.47円/ドル 165.24円/ユーロ

ノウハウ技術料が増加



医薬品、シロアリ薬剤等が増収

(億円)



III. 2026年3月期業績見通し

(単位：億円、%)

	26年3月期 見込	25年3月期 実績	前期比	伸び率
売上高	1,093	999	93	9.3
農薬（国内）	258	233	24	10.7
農薬（海外）	751	692	58	8.5
農薬（その他）	25	19	5	29.6
農薬以外の化学品	39	35	4	13.0
その他	18	18	0	△ 4.0
売上原価	731	667	63	9.5
売上総利益	362	332	29	9.0
販売費及び一般管理費	270	246	23	9.6
営業利益	92	85	6	7.3
経常利益	80	70	9	12.9
親会社株主に帰属する当期純利益	54	23	30	129.2
ROE(自己資本当期純利益率)	6.7%	3.0%		

売上高 999億円 → 1,093億円 (+ 93億円)

営業利益 85億円 → 92億円 (+ 6億円)

海外農薬販売の増益 + 35億円

国内農薬販売の増益 + 4億円

医薬事業の増益 + 2億円

ノウハウ技術料の増加 + 1億円

販管費の増加（為替影響除く） - 29億円

為替影響による減益 - 7億円

(単位：億円、%)

	26年3月期 見込	26年3月期 修正後計画	差異	増減率
売上高	1,093	1,090	3	0.3
農薬（国内）	258	244	14	5.9
農薬（海外）	751	766	△15	△2.0
農薬（その他）	25	26	0	△1.2
農薬以外の化学品	39	38	1	4.7
その他	18	17	1	5.9
売上原価	731	735	△4	△0.5
売上総利益	362	355	7	2.0
販売費及び一般管理費	270	270	0	0.0
営業利益	92	85	7	8.2
経常利益	80	73	7	9.6
親会社株主に帰属する当期純利益	54	50	4	8.0
ROE(自己資本当期純利益率)	6.7%	6.2%		

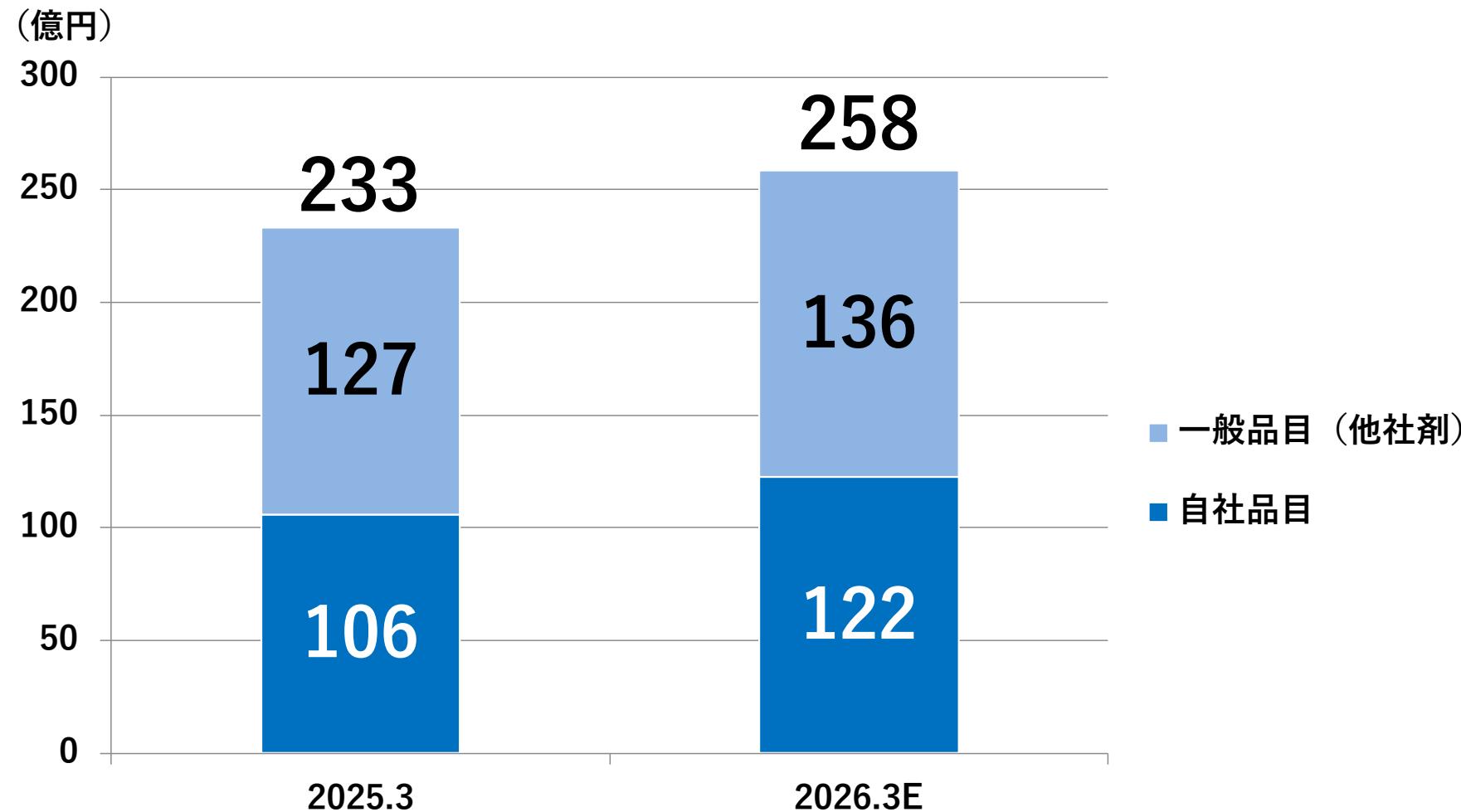
売上高 1,090億円 → 1,093億円 (+ 3億円)

営業利益 85億円 → 92億円 (+ 7億円)

海外農薬販売の増益 + 4億円

国内農薬販売の増益 + 3億円

水稻向け製品の販売増およびBASF社の果樹用農薬の独占販売権獲得により增收



北米での除草剤・殺ダニ剤、欧州での除草剤・殺虫剤の販売好調などにより増収

（億円）

800

600

400

200

0

692
15

151

245

133

146

751
12

156

251

201

130

- その他
- 北米
- 中南米
- 欧州
- アジア

2025.3

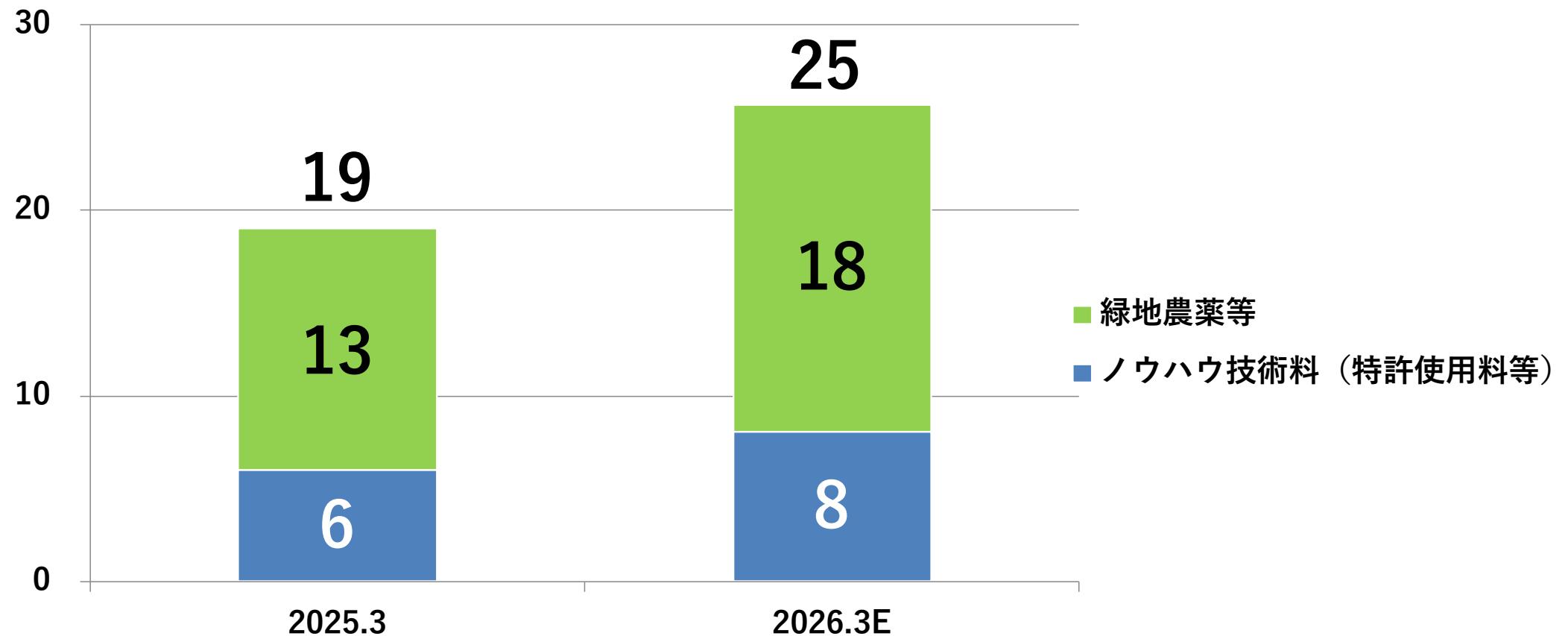
2025.3実績為替レート：149.51円/ドル
158.21円/ユーロ

2026.3E

2026.3計画為替レート：145円/ドル
155円/ユーロ

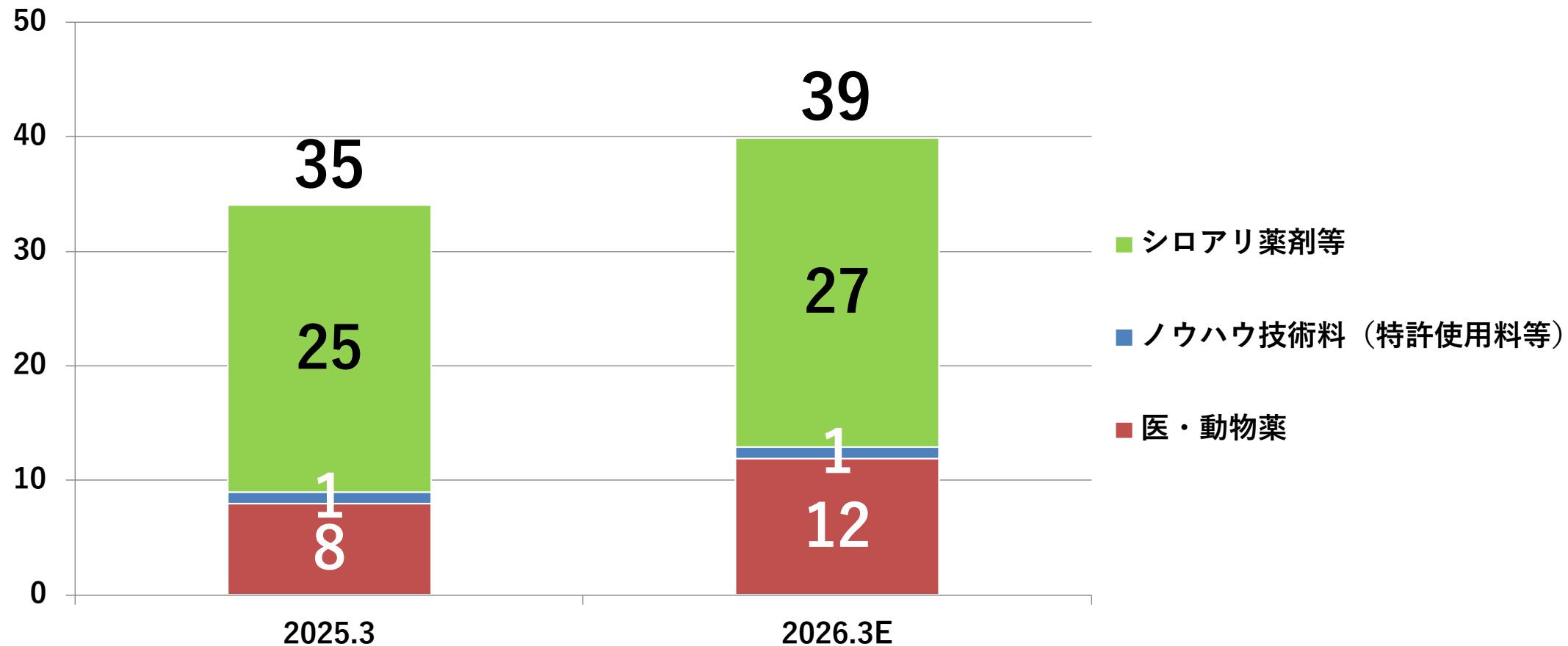
前期比增收

(億円)



医・動物薬およびシロアリ薬剤等が増収

(億円)



年間27円に増配の計画

			22.3	23.3	24.3	25.3	26.3E
親会社に帰属する当期純利益	百万円	4,405	4,488	4,777	2,356	5,400	
配当総額	百万円	1,181	1,260	1,417	1,732	2,113	
1株当たり 配当金	中間	円	7.5	8.0	9.0	10.0	12.0
	期末	円	7.5	8.0	9.0	12.0	15.0
	合計	円	15.0	16.0	18.0	22.0	27.0
配当性向	%	26.7	28.0	29.6	73.2	39.1	

IV. 中期経営計画への取り組み状況



- 業界再編における主導的な立場を目指す
- 機動的且つ積極的な検討を継続
- 新規事業を育成

NEW
UPDATE!

目的	対象（ターゲット）	想定規模
収益拡大	国内＝同業他社	大
	海外＝重要拠点強化・機能強化	小～中
新規事業育成	生物農薬・BS等の品目買収やベンチャー企業との提携・出資	小～中
DX	スマート農業事業発展に資する技術保有企業との提携・出資	小～中
既存事業育成	品目買収	大
既存事業整理	不採算事業・製品等の整理	収益～小

近年のM&A 拠点強化等実績

- ✓ NEUによるInteragro社買収
(アジュバント・BS)
- ✓ チリ現地法人、Nichino Chile設立
- ✓ 微生物殺菌剤の権利取得

小規模：10百万～5億円、中規模：5億円～30億円、大規模：30億円以上

国内農薬事業：BASF社の果樹向け農薬の独占販売権獲得

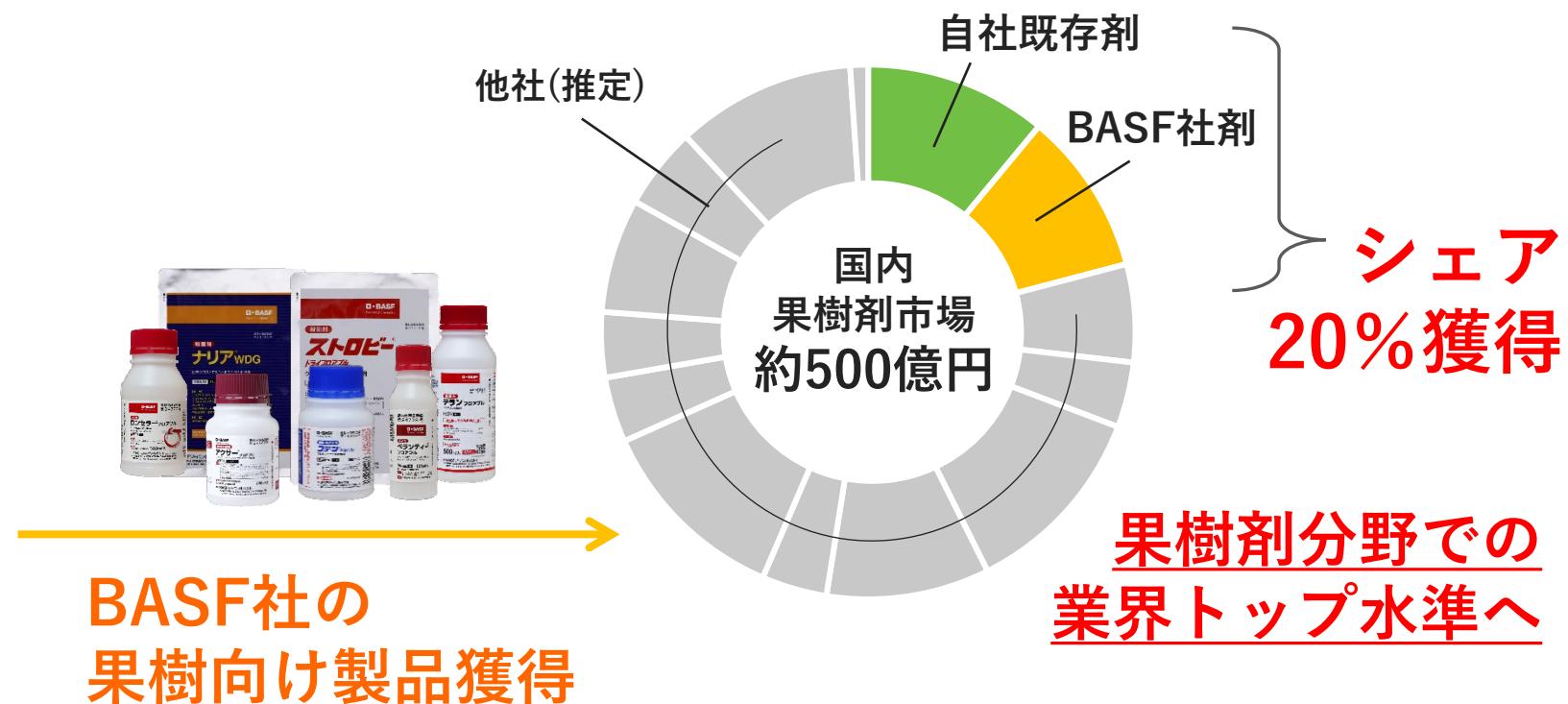
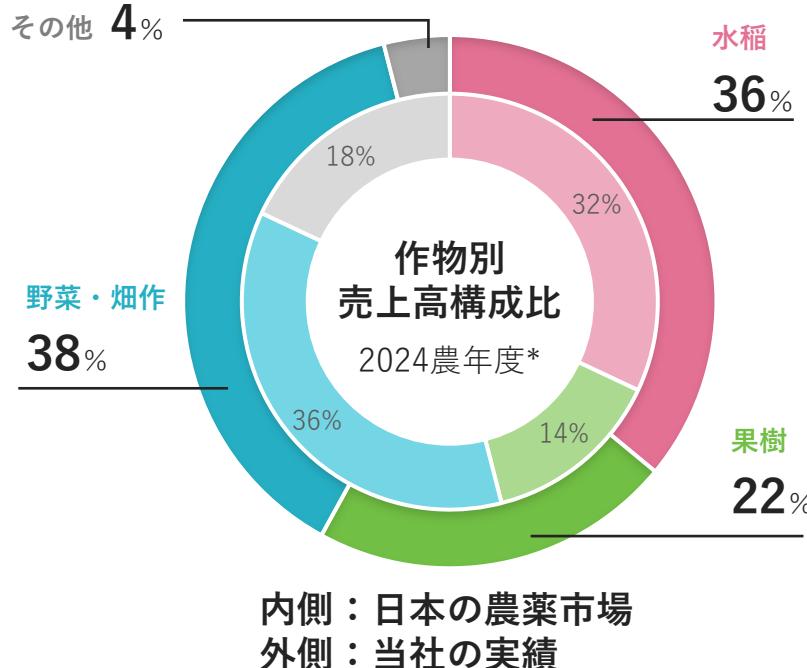
新しく7品目について、2025年10月より順次販売開始

分野	製品名（有効成分）
殺菌剤	デランフロアブル（ジチアノン）
殺菌剤	ナリアWDG (ピラクロストロビン+ボスカリド)
殺菌剤	ベランティーフロアブル (メフェントリフルコナゾール)
殺菌剤	ロンセラーフロアブル (フルキサピロキサド)
殺菌剤	アクサーフロアブル (フルキサピロキサド+ジフェノコナゾール)
殺菌剤	ストロビードライフロアブル (クレスキシムメチル)
殺虫剤	コテツフロアブル（クロルフェナピル）



国内農薬事業：BASF社の果樹向け農薬の独占販売権獲得

品目ポートフォリオのさらなる充実化、果樹剤マーケットでのシェア拡大

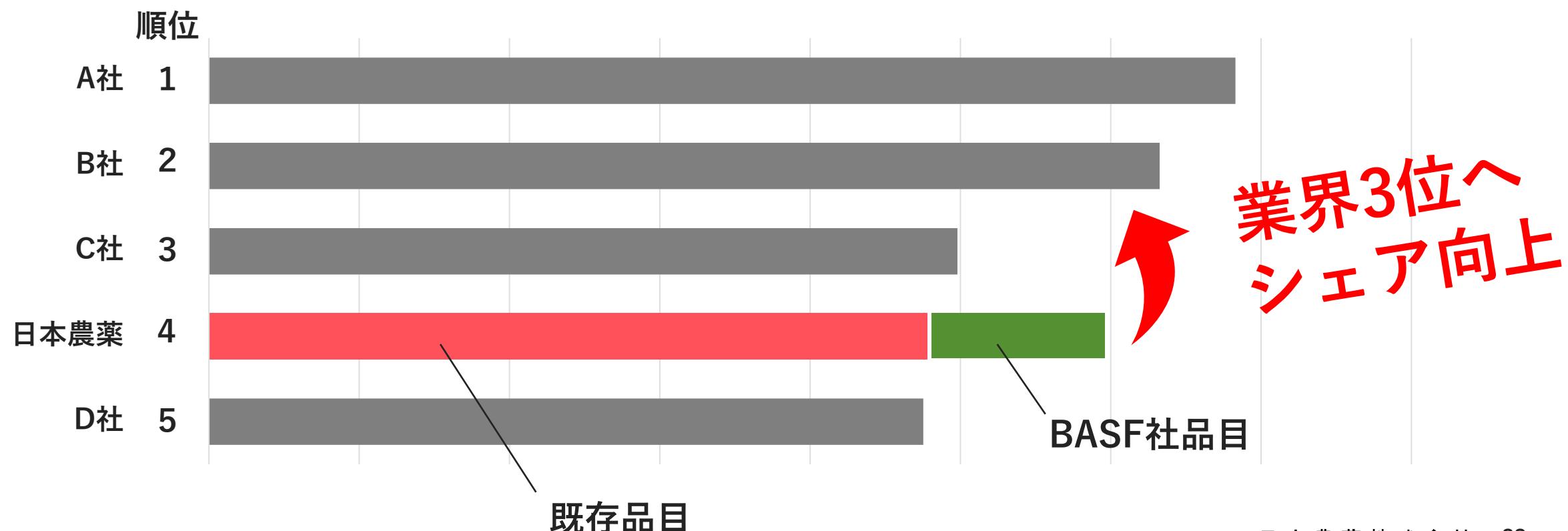


*2023年10月～2024年9月 クロップライフジャパンより

国内農薬事業：BASF社の果樹向け農薬の独占販売権獲得

日本国内農薬マーケットにおける総合シェアの拡大

国内での農薬販売金額（当社推定）



シベンゾキサスルフィル開発の進捗状況

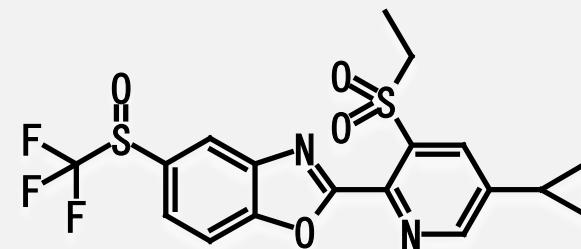
日本、インド、韓国で2025年に農薬登録を申請し 2028年以降に上市予定

本剤のニーズと登録性の高い3カ国で、2025年に農薬登録の申請を行い、2028年以降の登録認可並びに上市を予定。使用方法や適用作物等の拡大に向け、研究開発を鋭意実施中。

2025年：日本での農薬登録申請を実施
NEWUPDATE!

最速2028年以降：登録認可/上市予定

シベンゾキサスルフィル（CBX）の化学構造



作用機構: アセチルコリントランスポーター阻害

野菜・果樹・茶の栽培分野の殺虫剤で新規作用

■ 特長

- 幅広い害虫種に対して高い殺虫活性を示す。
- 新規作用性を有し、既存剤への感受性が低下した害虫にも有効である。
- 浸透移行活性が高く、土壤処理効果を示す。

シベンゾキサスルフィル(略称：CBX)の特長

幅広い害虫種に対して高い殺虫活性を示す

園芸作物 (specialty crop) の栽培上問題となる、チョウ目、カメムシ目、コウチュウ目、ハエ目といった広範囲の害虫に高い効果を示し、汎用性が高い殺虫剤



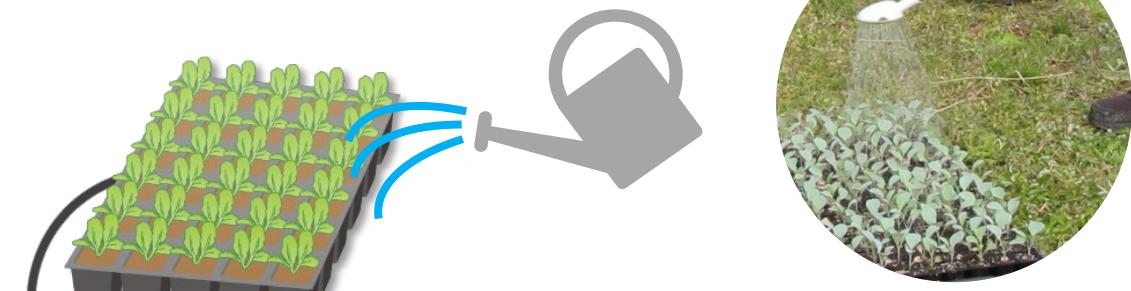
既存剤に対して感受性が低下した害虫種に有効

新規作用性を有し、既存剤に感受性の低下した害虫に対しても有効、作物の安定生産に貢献できる

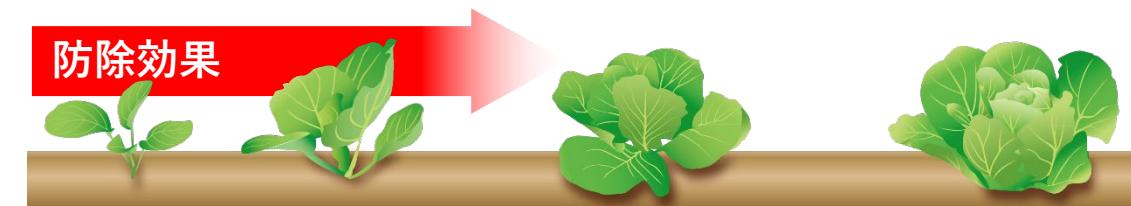
浸透移行活性が高く、土壤処理効果を示す。

セルトレイ灌注処理での実用性が確認されており、利便性の高い害虫防除剤として、生産者の省力化にも寄与する

CBXの浸透移行性を活かしたセル苗灌注処理

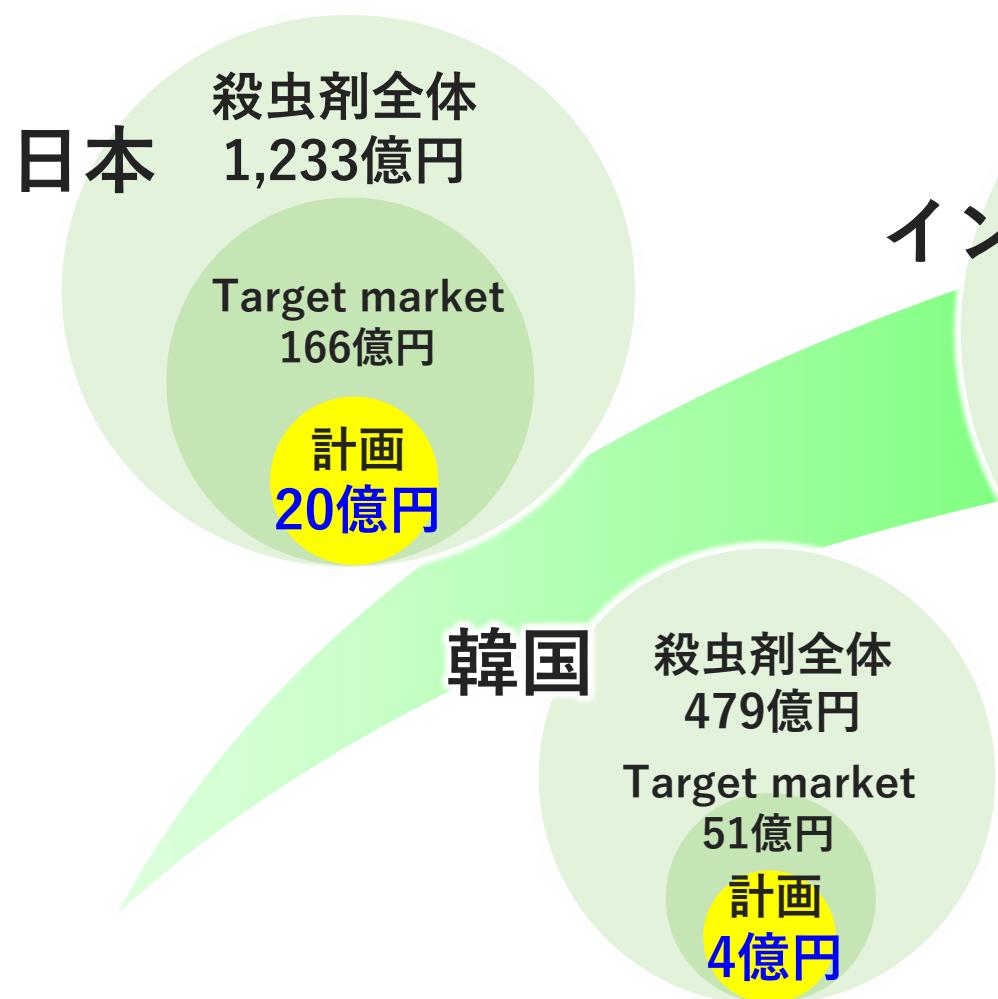


灌注処理したセル苗を圃場に苗を定植



作期前半の散布防除をスキップでき
省力的かつ低環境影響

シベンゾキサスルフィル(略称：CBX)の展開



✓ 適用地域は
その後も順次拡大

「レイミー × Z-GIS連携ソリューション」正式リリース



スマートフォンアプリを用いて病害虫や雑草、農作業、異変などの情報を簡単に記録し、地図上で可視化！

NEW
記録機能



全てをレイミーで簡単記録！



NICHINO グループ安全経営宣言の表明

NICHINOグループは、さらなる安全文化の醸成と活動強化のため、「**安全経営宣言**」を表明。従業員の安全は大前提という考え方のもと、規則遵守と安全な職場環境の整備を徹底し、**安全経営を重要な経営課題**としてグループ一体で取り組んでいます。

NICHINO グループ安全経営宣言

NICHINO グループは、「安全はすべてに優先する、安全なくして成長なし」との方針のもと、安全文化の醸成を図り、従業員が安全に安心して働く環境を構築して、労働災害ゼロを目指すことを宣言します。

日本農薬株式会社 代表取締役社長

岩田 浩幸

エンゲージメントスコア向上

2024年2月：サービス開始

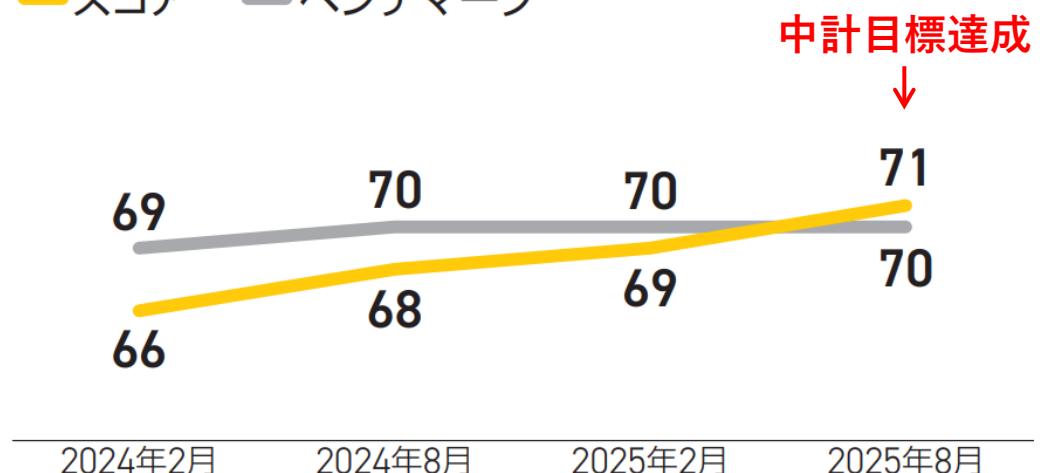
ベンチマーク：医薬業界同規模企業

中計の目標：70ポイント以上／直近実績：71ポイント達成

次のステップ：国内グループ企業へ展開（2025年度～）

エンゲージメントスコア推移

■スコア ■ベンチマーク



気候変動が水稻作に与える影響の緩和に向けた取り組み



カメムシ防除剤

- ・エクシード剤
- ・フジワンラップ粒剤など

斑点米発生

白未熟粒 健全な米

白未熟粒発生

フジワン粒剤

企業価値向上に向けた情報開示の一環として、2025年度より統合報告書を発行しました



2025.10.30
NEW RELEASE

引き続き情報開示の質を高め
株主の皆様との対話を
深めてまいります



V. 質疑応答

代表取締役社長	岩田 浩幸
常務執行役員 経営企画本部長 兼 管理本部長	高橋 史郎
常務執行役員 研究本部長 兼 海外営業本部長	元場 一彦
執行役員 経営企画本部副本部長	藤田 恭浩
管理本部経理部長	古賀 幹和
管理本部総務・法務部長	吉岡 正樹



2026年3月期第2四半期（中間期）
決算説明会

2025年11月27日
証券コード：4997
東証プライム市場



ご参考資料

(単位：百万円、%)

		26年3月期 中間期 実績	25年3月期 中間期 実績		
				前年同期比	伸び率
日本農薬	売上高	27,542	25,451	2,091	8.2
	営業利益	2,966	2,191	774	35.3
	当期純利益	3,440	2,553	886	34.7
ニチノーサービス	売上高	1,933	1,861	71	3.8
	営業利益	41	9	31	328.8
	当期純利益	13	△ 2	15	—
ニチノー緑化	売上高	1,080	970	110	11.3
	営業利益	17	14	3	20.5
	当期純利益	14	6	8	129.2
日本エコテック	売上高	515	459	56	12.2
	営業利益	73	28	44	155.0
	当期純利益	48	20	28	138.6
アグリマート	売上高	1,536	1,385	150	10.9
	営業利益	281	230	51	22.4
	当期純利益	183	149	34	23.2

(単位：百万円、%)

		26年3月期	26年3月期		
		中間期 実績	中間期 修正計画	差異	増減率
日本農薬	売上高	27,542	25,000	2,541	10.2
	営業利益	2,966	1,325	1,641	123.9
	当期純利益	3,440	2,132	1,308	61.4
ニチノーサービス	売上高	1,933	1,982	△ 49	△ 2.5
	営業利益	41	23	17	75.5
	当期純利益	13	3	9	—
ニチノー緑化	売上高	1,080	1,062	18	1.8
	営業利益	17	15	2	19.2
	当期純利益	14	8	6	—
日本エコテック	売上高	515	474	41	8.7
	営業利益	73	21	51	—
	当期純利益	48	14	34	237.3
アグリマート	売上高	1,536	1,472	63	4.3
	営業利益	281	235	46	19.7
	当期純利益	183	153	30	19.9

(単位：百万円、%)

		26年3月期 中間期 実績	25年3月期 中間期 実績			売上高 為替換算レート(円)
				前年同期比	伸び率	
ニチノーアメリカ	売上高	8,104	6,181	1,922	31.1	米ドル
	営業利益	788	216	571	263.3	25.3(1H)実績 151.72
	当期純利益	606	174	431	247.1	26.3(1H)実績 145.88
日佳農薬	売上高	167	216	△ 48	△ 22.4	台湾ドル
	営業利益	△ 4	2	△ 7	—	25.3(1H)実績 4.71
	当期純利益	△ 1	4	△ 5	—	26.3(1H)実績 4.83
ニチノーインディア	売上高	5,156	4,653	502	10.8	インドルピー
	営業利益	233	△ 272	505	—	25.3(1H)実績 1.82
	当期純利益	39	△ 368	408	—	26.3(1H)実績 1.70
シプカムニチノーブラジル	売上高	7,437	6,374	1,062	16.7	ブラジルレアル
	営業利益	166	△ 467	634	—	25.3(1H)実績 29.62
	当期純利益	△ 326	△ 709	383	—	26.3(1H)実績 25.86
ニチノーヨーロッパ	売上高	6,347	3,275	3,071	93.8	英ポンド
	営業利益	1,138	366	771	210.5	25.3(1H)実績 196.09
	当期純利益	962	255	707	277.1	26.3(1H)実績 194.66
ニチノーベトナム	売上高	532	—	—	—	ベトナムドン (100ドン)
	営業利益	19	—	—	—	25.3(1H)実績 —
	当期純利益	7	—	—	—	26.3(1H)実績 0.59

(単位：百万円、%)

		26年3月期 中間期 実績	26年3月期 中間期 修正計画			売上高 為替換算レート(円)
				差異	増減率	
ニチノーアメリカ	売上高	8,104	8,496	△ 392	△ 4.6	米ドル
	営業利益	788	979	△ 191	△ 19.5	26.3(1H)実績 145.88
	当期純利益	606	721	△ 114	△ 15.9	2026.3計画 145.00
日佳農薬	売上高	167	166	0	0.5	台湾ドル
	営業利益	△ 4	△ 5	0	—	26.3(1H)実績 4.83
	当期純利益	△ 1	△ 2	0	—	2026.3計画 4.50
ニチノーアイネディア	売上高	5,156	5,845	△ 689	△ 11.8	インドルピー
	営業利益	233	276	△ 42	△ 15.5	26.3(1H)実績 1.70
	当期純利益	39	83	△ 43	△ 52.7	2026.3計画 1.70
シップカムニチノーブラジル	売上高	7,437	7,520	△ 82	△ 1.1	ブラジルレアル
	営業利益	166	170	△ 3	△ 2.2	26.3(1H)実績 25.86
	当期純利益	△ 326	△ 328	2	—	2026.3計画 26.00
ニチノーヨーロッパ	売上高	6,347	6,571	△ 223	△ 3.4	英ポンド
	営業利益	1,138	1,134	4	0.4	26.3(1H)実績 194.66
	当期純利益	962	886	76	8.6	2026.3計画 190.00
ニチノーベトナム	売上高	532	659	△ 127	△ 19.4	ベトナムドン (100ドン)
	営業利益	19	22	△ 3	△ 13.7	26.3(1H)実績 0.59
	当期純利益	7	11	△ 3	△ 30.9	2026.3計画 0.60

(単位：百万円、%)

		26年3月期	25年3月期	前年同期比	伸び率
		見込	実績		
日本農薬	売上高	57,577	53,821	3,756	7.0
	営業利益	4,035	4,138	△ 103	△ 2.5
	当期純利益	4,396	△ 2,732	7,128	—
ニチノーサービス	売上高	4,278	4,050	227	5.6
	営業利益	189	160	29	18.3
	当期純利益	106	54	52	96.6
ニチノーブル化	売上高	2,258	2,089	168	8.1
	営業利益	56	54	1	3.4
	当期純利益	35	36	△ 1	△ 1.8
日本エコテック	売上高	1,018	940	78	8.3
	営業利益	67	60	7	12.3
	当期純利益	45	42	3	7.6
アグリマート	売上高	2,693	2,518	174	6.9
	営業利益	314	287	27	9.5
	当期純利益	211	187	24	12.8

(単位：百万円、%)

		26年3月期 見込	26年3月期 修正後計画	差異	増減率
日本農薬	売上高	57,577	54,360	3,216	5.9
	営業利益	4,035	2,696	1,338	49.6
	当期純利益	4,396	3,265	1,131	34.7
ニチノーサービス	売上高	4,278	4,270	7	0.2
	営業利益	189	164	25	15.3
	当期純利益	106	91	14	16.0
ニチノー緑化	売上高	2,258	2,259	△ 1	△ 0.0
	営業利益	56	57	△ 1	△ 0.3
	当期純利益	35	35	0	1.1
日本エコテック	売上高	1,018	950	68	7.3
	営業利益	67	45	22	49.8
	当期純利益	45	31	13	44.0
アグリマート	売上高	2,693	2,587	105	4.1
	営業利益	314	261	53	20.6
	当期純利益	211	179	31	17.7

(単位：百万円、%)

		26年3月期 見込	25年3月期 実績	25年3月期		売上高 為替換算レート(円)
				前期比	伸び率	
ニチノーアメリカ	売上高	15,822	15,117	704	4.7	米ドル
	営業利益	1,411	1,538	△ 128	△ 8.3	2025.3実績 152.16
	当期純利益	1,075	1,206	△ 132	△ 10.9	2026.3計画 145.00
日佳農薬	売上高	388	441	△ 54	△ 12.1	台湾ドル
	営業利益	△ 12	△ 8	△ 4	—	2025.3実績 4.69
	当期純利益	△ 5	△ 2	△ 4	—	2026.3計画 4.50
ニチノーインディア	売上高	10,530	9,186	1,343	14.6	インドルピー
	営業利益	434	△ 253	687	—	2025.3実績 1.80
	当期純利益	60	△ 434	495	—	2026.3計画 1.70
シプカムニチノーブラジル	売上高	22,818	22,563	254	1.1	ブラジルレアル
	営業利益	1,642	1,910	△ 268	△ 14.0	2025.3実績 27.29
	当期純利益	118	131	△ 13	△ 9.8	2026.3計画 26.00
ニチノーヨーロッパ	売上高	13,846	8,807	5,038	57.2	英ポンド
	営業利益	1,889	908	981	108.1	2025.3実績 194.64
	当期純利益	1,553	763	790	103.5	2026.3計画 190.00
ニチノーベトナム	売上高	1,104	1,462	△ 358	△ 24.5	ベトナムドン (100ドン)
	営業利益	22	92	△ 71	△ 75.8	2025.3実績 0.63
	当期純利益	8	61	△ 53	△ 85.8	2026.3計画 0.60

(単位：百万円、%)

		26年3月期 見込	26年3月期 修正後計画			売上高 為替換算レート(円)
				差異	増減率	
ニチノーアメリカ	売上高	15,822	15,836	△ 15	△ 0.1	米ドル
	営業利益	1,411	1,703	△ 293	△ 17.2	2025.3実績 152.16
	当期純利益	1,075	1,229	△ 155	△ 12.6	2026.3計画 145.00
日佳農薬	売上高	388	413	△ 26	△ 6.1	台湾ドル
	営業利益	△ 13	3	△ 16	—	2025.3実績 4.69
	当期純利益	△ 6	6	△ 13	—	2026.3計画 4.50
ニチノーアイネディア	売上高	10,530	11,152	△ 622	△ 5.6	インドルピー
	営業利益	434	538	△ 104	△ 19.2	2025.3実績 1.80
	当期純利益	60	148	△ 88	△ 59.0	2026.3計画 1.70
シプカムニチノーブラジル	売上高	22,818	24,592	△ 1,775	△ 7.2	ブラジルレアル
	営業利益	1,642	1,902	△ 261	△ 13.7	2025.3実績 27.29
	当期純利益	118	281	△ 164	△ 58.0	2026.3計画 26.00
ニチノーヨーロッパ	売上高	13,846	12,764	1,081	8.5	英ポンド
	営業利益	1,889	1,356	533	39.3	2025.3実績 194.64
	当期純利益	1,553	1,057	495	46.9	2026.3計画 190.00
ニチノーベトナム	売上高	1,104	1,309	△ 205	△ 15.6	ベトナムドン（100ドン）
	営業利益	22	21	1	6.4	2025.3実績 0.63
	当期純利益	8	0	7	812.5	2026.3計画 0.60



2026年3月期第2四半期（中間期） 決算説明会

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

日本農薬株式会社

2025年11月27日

